

# 砕く技術 × 社会貢献 = アーステクニカ

社会に役立つものづくりに一緒に取り組みませんか？

アーステクニカは「<sup>はさいき</sup>破碎機」という、ものを砕いて小さくする機械の開発・設計、製造、販売を行う機械メーカー、プラントエンジニアリング会社です。  
当社は2003年4月、川崎重工業と神戸製鋼所の<sup>はさいき</sup>破碎機事業部門の独立・統合により誕生しました。  
また、2008年4月からは川崎重工業が100%株式を取得し、川崎重工グループの一員として、新たなステージに立ちました。  
当社は川崎重工業、神戸製鋼所時代から培ってきた「<sup>はさいき</sup>砕く技術」と<sup>はさいき</sup>破碎機のノウハウを活かし、様々な課題を解決してきた実績を持つとともに、これからも「<sup>はさいき</sup>砕く技術」で社会に貢献していきます。  
社会に役立つものづくりに一緒に取り組む人材をお待ちしています。



2003年4月 設立

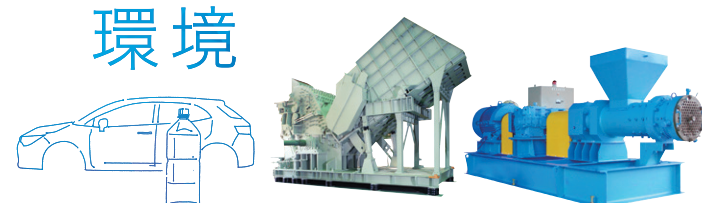


「砕く技術」が活躍するフィールド



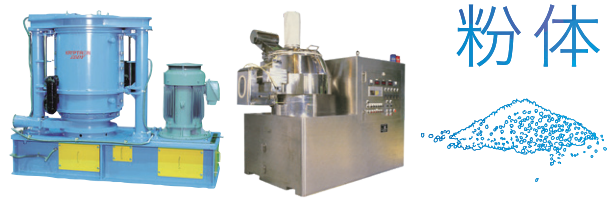
## 砕石

道路や電車の線路、ビルなどを建設するための石を造る<sup>はさいき</sup>破碎機を製造しています。国内での累計販売台数はトップを誇り、海外にも多くの納入実績を持っています。



## 環境

資源リサイクルのため、<sup>はさいき</sup>こみを砕く<sup>はさいき</sup>破碎機を製造している分野です。軟らかいプラスチック<sup>はさいき</sup>こみから、自動車のボディのような硬い金属<sup>はさいき</sup>こみまで、あらゆる<sup>はさいき</sup>こみを砕く機械を納入しています。



## 粉体

医薬品やふりかけ、お菓子などの食品等、身近な製品を造る機械を製造している分野です。ミクロンサイズの非常に小さなレベルで砕く対象物の形やサイズをコントロールする、高度な技術を持っています。

## ちゅうこうひん 鋳鋼品



<sup>はさいき</sup>破碎機の中において、ものを砕くための中心的な部品となる<sup>ちゅうこうひん</sup>鋳鋼品も、自社で開発・製造しています。<sup>ちゅうこうひん</sup>鋳鋼品の性能が機械全体の処理能力を左右するため、<sup>はさいき</sup>破碎機を製造するうえで非常に重要な分野です。

## 募集要項

|      |  |
|------|--|
| 職種   | 生産職  |
| 給与   | 2025年度初任給(高校新卒): <b>225,000円</b>   |
| 昇給   | 年1回(4月)  |
| 賞与   | 年2回(7月、12月)(2025年度実績: <b>5.15ヵ月</b> )  |
| 勤務地  | アーステクニカ八千代工場(千葉県八千代市)  |
| 勤務時間 | <b>8:30~17:30</b> (昼休み12:00~13:00)<br>※機械加工職場(全従業員数の約6%)のみ二交代制(20:00~5:00)   |
| 休日休暇 | 年間休日 <b>125日</b> (2025年度)<br><b>完全週休2日</b> (土・日・祝日休み ※会社カレンダー有)<br>労働祭/夏季休日/年末年始休暇/年次有給休暇(入社日22日付与)<br>慶弔休暇/積立休暇/リフレッシュ休暇/産前産後休暇<br>育児休業/介護休暇・休業 他 |
| 福利厚生 | 社内食堂制度/独身寮・社宅制度/財形貯蓄<br>従業員持株制度/カフェテリアプラン(選択型福利厚生サービス)など   |

### 出身高校・学科、性別不問 全国から生産職を大募集

- 応募前職場見学、選考参加者の交通費は**全額会社負担**
- 半数以上が普通高校(学科)の出身者知識、資格は入社後一から身につけていただきます。
- 業務上必要な資格の取得費用は**全額会社負担**  
(取得可能な資格:フォークリフト、床上操作式クレーン、玉掛けなど)
- 独身寮完備(個室) ※入寮制限あり

### 女性生産職積極採用 仕事と育児を両立して働き続ける女性を応援します

- 育児休業は最長でお子さんが**3歳**になるまで取得可能  
長く育児休業が取れるため、余裕を持って保育園を探したり、家族と過ごす時間を長く取ったりすることが可能です。
- 育児休業取得後職場復帰率 **100%**  
職場復帰後は短時間勤務制度や看護休暇などの制度を利用し、ライフスタイルの変化に対応して働き続けることができます。



公式ホームページ  
<https://www.earthtechnica.co.jp/>

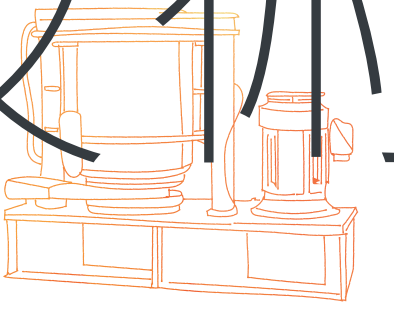


公式YouTubeチャンネル  
<https://www.youtube.com/@earthtechnicaofficialchann8702/featured>

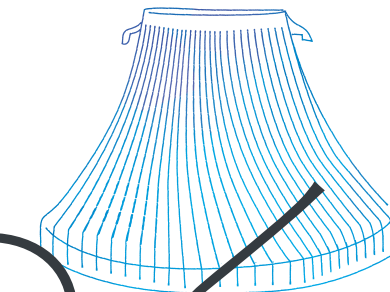


会社名 株式会社アーステクニカ  
本社所在地 東京都千代田区神田神保町2-4  
代表者 代表取締役社長 西昌彦  
資本金 12億円  
設立 2003年4月1日  
売上 170億円(2025年3月期)

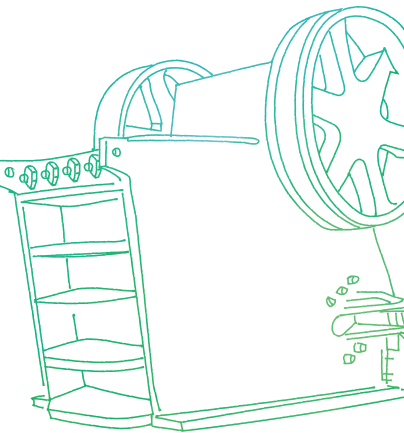
# 砕く技術



# で未来を



# つくる。



## 製缶工程

数mm～約150mmの様々な厚さの金属板を切断、溶接し、破碎機の本体にあたるケーシングを製造する工程です。強い衝撃が加わるケーシングの溶接には、金属同士をしっかりと結合させる高い溶接の技術力が求められます。

### S.K

2011年入社 | 機械科出身

溶接の前段階の「仮組」という仕事を担当しています。図面を読み取り、鉄板をケーシングの形にしておくため、図面の読解力が必要な難しい仕事ですが、鉄板を自分の手で製品の形にすることにやりがいを感じます。休日は職場の仲間とソフトボールやバイクツーリングといった趣味を楽しむのも、入社して良かったと思うことの一つです。

## 機械加工工程

NC旋盤などの工作機械を用いて、破碎機の軸等の部品の加工を行う職場です。最大7m程度にもなる大型の部品加工ですが、図面で決められた寸法からの誤差が100分の1mm以内という条件の場合もあり、緻密さや正確性が求められます。

### O.M

2015年入社 | 普通科出身

「マントル」という破碎機の中心部的な部品の加工を担当しています。一人で2台の加工機械のオペレーションをするのは大変ですが、前より早く仕事ができるようになり、成長を実感しています。昼休みには会社の野球部の練習で体を動かし、リフレッシュした状態で午後の仕事に取り組んでいます。

## 組立工程

ケーシング、軸、鑄物の部品等を用いて、破碎機本体の総組立を行う工程です。大きな製品では高さ10m、重量200tにもなり、チーム一丸となって組立に取り組む力が求められます。

### K.N

2012年入社 | 生活科学科出身

破碎機の組立を担当しています。お客様からの注文状況により造る製品が変わるので、いろいろな機械に触れることができるのが、組立工程の仕事の魅力です。高校時代に思っているよりも、社会人として働くことはきっと楽しいです。皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています！

## 検査工程

完成した製品の試運転や、部品の寸法・強度等の検査を行う部門です。高品質な製品を生み出すためには必要不可欠な仕事で、正確性と高い技術力が求められています。



### F.K

2012年入社 | 普通科出身

機械部品の寸法検査、分析装置を使った鑄鋼品の検査、製品の試運転等、製品の品質に関わる仕事を幅広く担当しています。ときには検査のために海外へ出張することもあります。各職場とコミュニケーションをとることが多い職場ですが、工場全体が和気あいあいとした雰囲気です。働きやすいです。

## 出荷工程

フォークリフト等を用いて、完成した破碎機や鑄物部品の出荷等を行う工程です。正しくお客様に製品が届かなければ、会社が信頼を失ってしまつため、スピーディ且つ正確な段取りの力が求められます。



## 現地工事・アフターサービス工程

お客様のもとに出張し、破碎機を稼働させるための工事監理や故障を未然に防ぐため納入済製品の巡回点検を行う部門です。日本だけでなく海外のお客様のもとにも出張することがあり、機械知識や経験をもとにした対応力が求められます。

### T.H

2014年入社 | 普通科出身

お客様のもとで稼働している機械の点検を担当しています。高校時代に八千代工場を見学したとき、「こんな大きな機械を自分の手で造れたら楽しんだろうな！」と思い、アーステクニカへの入社を決めました。優しく頼れる上司にも恵まれ、毎日楽しく仕事をしています。

## KVM型ローラミル

石灰石や石炭を細かく砕く機械です。大きなものでは高さは10mほど、総重量は約200tもあり、50mmの石炭を75μmという粉末状のサイズまで砕くことができます。火力発電所で燃料となる石炭が効率よく燃えるように細かく砕く等、皆さんの生活を支える分野で活躍しています。

## 鑄鋼品(鑄物)って何?

砂等を固めて作った型(=鑄型)に溶けた金属を流し込み、それを冷やして固める製造方法(=鑄造)により出来上がった製品が「鑄鋼品(=鑄物)」です。鑄物は寺院の大仏や釣鐘、道路にあるマンホール等、実は皆さんの身近に数多く存在しています。当社では破碎機のコアパーツである重要な鑄物部品を自社で製造しています。

# 砕く技術をつくる仕事。

## 溶解工程

複数の金属を溶解炉で溶かし鑄鋼品のもととなる合金を造り、鑄型へ流し込む工程です。決められた時間内で1,500℃以上にもなる溶解した金属を扱うため、スピードと正確性、何より安全性が求められます。



### A.K

2013年入社 | 普通科出身

金属を溶解炉で溶かす仕事を担当しています。なかでも溶かした金属を入れて運ぶ「取鋼」という入れ物の修繕・管理は、私がメインで担当している仕事です。高温の金属を扱うため、夏は暑くて大変ですが、頑張っています。会社や労働組合が企画する行事が多く、他の職場の若手社員とも仲良くなれて楽しいです。

## 鑄造工程

溶解した金属を流し込むための鑄型を造る工程です。鑄型を造るためには他の作業者との連携が必要不可欠です。スケジュール通りに図面通りの正しい鑄型を造るには、チームとして正確に動く力が求められます。



### Y.S

2012年入社 | 機械科出身

鑄鋼品の鑄型をチームで協力して製造しています。私は鑄鋼品の型を移動するためのクレーンや、ミキサーという機械の操作を任されています。思い通りに仕事できたときに手こたえとやりがいを感じます。八千代工場にはグラウンドやトレーニングルームがあり、体を動かして気分転換できるのが好きです。

## 仕上工程

冷めた鑄物に再び熱を加え素早く冷却し強度を高める「熱処理」や、表面を整える作業とともに、製品の最終検査を行う工程です。安定した品質を維持するための正確性と欠陥を見逃さない観察力が求められます。



### N.Y

2016年入社 | 情報会計科出身

小型の鑄鋼部品の仕上げ作業の中で、曲がった部品を平らにする「プレス」という作業を担当しています。狙い通りに部品を平らにできると、やはり嬉しいですね。アーステクニカには県外から就職しましたが、独身寮があるので安心して社会人生活のスタートを切れました。